

平成30年度 ウェスタン健康科学大学薬学部研修報告

坂川彰悟、加藤未沙希、上田梨奈、山本彩加
(グループ3)

私たちは、平成31年2月11日から2月25日までアメリカ薬学研修に参加した。研修中は主に協定校である College of Pharmacy, Western University of Health Sciences (ウェスタン大学薬学部) を訪問し、その他にもアメリカの医療施設を見学した。2週間のアメリカ研修で特に印象的だった事について報告する。



図1.PCCの概観

1. Western 大学薬学部

Western 大学はカリフォルニア州ボモナに位置する。大学内には PCC(The Pharmacy in the Patient Care Center)という診療施設があり、地域の健康維持に関与している。PCCは、専門的な医療サービスと研究を行っており、内訳として1.Eye Care、2.Dental Care、3.Foot & Ankle Health Care、4.Limb Preservation Care、5.Primary Medical Care、6.Pharmacy、7.Travel Health Care、8.Medical Specialty Careがある。また、糖尿病患者の教育病院としても機能している。

2. CVS/ Pharmacy

CVS/ Pharmacy は、アメリカ最大の薬局・コンビニエンスストア・チェーンである。日本のドラッグストアに比べ、一店舗あたりの規模が大きく、薬やサプリメントの品目数が多い。CVS/ Pharmacy の薬剤師の業務内容は、OTC 販売・調剤業務のほか、日本では行わないワクチン接種も行っている。



図2. CVS/ Pharmacy の処方箋カウンター



図3.OTC コーナー



図 4.アメリカのアレグラ

3. San Antonio Regional Hospital

San Antonio Regional Hospital はカリフォルニア州アップランドにある急性期総合病院であり、多くの救急患者が運ばれる。薬剤部の入り口は、防弾ガラスや防弾壁で囲まれており、職員の安全が確保されるとともに、医薬品が盗難にあわないようになっている。また、病棟に配置してある薬品は、事前に Omnicell という機械の中に収納されており、処方があると、素早く正確に医薬品が取り出せるシステムを採用している。



図 5.救急用薬品



図 6.薬品棚



図 7.病院の外観

4. 感想

アメリカ研修では、日本との医療制度の違いや薬剤師の役割の違いなど、驚くことが多く、とても刺激的な研修となった。今後、アメリカ研修で学んだことを日本でも活かしていきたい。



図 8.グループの集合写真